

週刊ニュース  
こんにちは日本共産党  
横浜市議員

大和田あきお です

日本共産党戸塚区委員会  
戸塚町3884-1  
TEL：045-865-0074  
FAX：045-865-0594

# 市立小学校の教科書等決まる

8月4日に行われた教育委員会定例会で、市立小学校で2024年度から4年間使う教科書等の採択が行われました。注目の社会科と道徳は、教育出版株式会社の教科書になりました。今回も教育委員の「無記名投票」による採択でした。



## ネットリテラシー、SNSによるいじめ問題、ジェンダー平等など新しい分野も

横浜教科書採択連絡会は、今回の教科書と検定について、下記の特徴と問題点を指摘しています。

- 新しい内容として、ネットリテラシー、SNSによるいじめ、プログラミング教育、ジェンダー平等・LGBTQなどがとりあげられている。性の多様性については保健・体育の教科書に記載された。
- 現行版からさらに頁数が増加。子どもが持ち帰る時の重さも課題。
- 全教科書にQRコードが掲載され、その数も急増。背景には、国が進める「GIGAスクール構想」がある。QRコードから開く情報は検定対象外。
- 「政府見解」（学問的根拠がなくとも閣議決定すれば「政府見解」となる）を書くよう「検定基準」が改悪されたため、2021年に高校歴史教科書の「強制連行」「従軍慰安婦」の記述が一律に訂正を求められた。今回の小学校教科書もこの影響で、教科書会社の作成段階で記述を「忖度」したり、削除した例が見られた。等

2024年夏は中学校教科書の採択が行われます。党市議団としては、採択の透明化と現場の教員の声が反映されるよう、引き続き改善を求めてきます。

各教科書の採択結果→



## 「レシ活」ポイント失効問題

横浜市が、国からのコロナ・物価高騰対策の臨時交付金の一部を活用して、2021年～22年度に実施した経済支援事業「レシ活」を巡り、アプリ経由で利用者に還元したポイントが失効し、失効ポイント分の予算が運営事業者に流れた問題で、横浜市の対応を発表しました。アプリ経由で還元したポイントは総額約77億2290万円で、失効額は約4億5千万円とみられています。

○ポイント失効した分※について、9/11～15の間に自動復活。来年1月13日まで有効。

○復活ポイントの有効期限が過ぎた分は横浜市に返還される。

※事業者のミスにより120日期限前に失効した分。120日を経過した分（約4000万）については、還元はなく、予算分は運営会社から市に自主返納される予定。

党市議団は、レシ活事業が再開される際に、臨時交付金を活用するのであれば、子どもたちを直接支援することになる「給食費軽減」にこそ充てるべきと主張し、反対しました。

今回の市の対応について、これで一件落着という訳にはいきません。副市長をリーダーとする庁内関係部署の「振り返りチーム」が設置されますが、党市議団も臨時交付金などの税金の使い方について、厳しく追及していきます。